

「GRIサステナビリティ・レポート・スタンダード」の開示要請項目について、「マツダサステナビリティレポート2023」において関連するページを記載しています。

*該当ページへのリンクは、PCでの閲覧用に最適化しているため、スマートフォンやタブレットには対応していません。

スタンダード	開示事項	該当ページ/()内は省略理由
GRI2:	一般開示事項 2021	
1	組織と報告実務	
2-1	組織の詳細	122
2-2	組織のサステナビリティ報告の対象となる事業体	3
2-3	報告期間、報告頻度、連絡先	3、裏表紙
2-4	情報修正・訂正記述	—
2-5	外部保証	123
2	事業活動と労働者	
2-6	活動、バリューチェーン、その他の取引関係	有価証券報告書*1
2-7	従業員	117
2-8	従業員以外の労働者	有価証券報告書*1
3	ガバナンス	
2-9	ガバナンスの構造と構成	94-95
2-10	最高ガバナンス機関における指名と選出	94 有価証券報告書*1 コーポレートガバナンスに関する報告書*2
2-11	最高ガバナンス機関の議長	95 有価証券報告書*1 コーポレートガバナンスに関する報告書*2
2-12	インパクトのマネジメントの監督における最高ガバナンス機関の役割	99 有価証券報告書*1
2-13	インパクトのマネジメントに関する責任の移譲	99 有価証券報告書*1

スタンダード	開示事項	該当ページ/()内は省略理由
2-14	サステナビリティ報告における最高ガバナンス機関の役割	9
2-15	利益相反	コーポレートガバナンスに関する報告書*2
2-16	重大な懸念事項の伝達	103-104
2-17	最高ガバナンス機関の集会的知見	95 コーポレートガバナンスに関する報告書*2
2-18	最高ガバナンス機関のパフォーマンスの評価	9、96 コーポレートガバナンスに関する報告書*2
2-19	報酬方針	94 有価証券報告書*1 コーポレートガバナンスに関する報告書*2
2-20	報酬の決定プロセス	コーポレートガバナンスに関する報告書*2
2-21	年間報酬総額の比率	—
4	戦略、方針、実務慣行	
2-22	持続可能な発展に向けた戦略に関する声明	4
2-23	方針声明	59-60
2-24	方針声明の実践	60-62、105-106
2-25	マイナスのインパクトの是正プロセス	62、103-104、121
2-26	助言を求める制度および懸念を提起する制度	103-104
2-27	法規制遵守	103-104
2-28	会員資格を持つ団体	109

*1 有価証券報告書 <https://www.mazda.com/ja/investors/library/s-report/>

*2 コーポレートガバナンスに関する報告書 <https://www.mazda.com/ja/investors/library/governance/>

「GRIサステナビリティ・レポート・スタンダード」の開示要請項目について、「マツダサステナビリティレポート2023」において関連するページを記載しています。
*該当ページへのリンクは、PCでの閲覧用に最適化しているため、スマートフォンやタブレットには対応していません。

スタンダード	開示事項	該当ページ/()内は省略理由
5	ステークホルダー・エンゲージメント	
2-29	ステークホルダー・エンゲージメントのアプローチ	107-109
2-30	労働協約	55
GRI3:	マテリアルな項目 2021	
3-1	マテリアルな項目の決定プロセスの開示	8
3-2	マテリアルな項目のリスト	8 有価証券報告書*1
3-3	マテリアルな項目のマネジメント	9 有価証券報告書*1
200	経済	
GRI 201:	経済パフォーマンス 2016	
201-1	創出、分配した直接的経済価値	117 有価証券報告書*1
201-2	気候変動による財務上の影響、その他のリスクと機会	13、22-23
201-3	確定給付型年金制度の負担、その他の退職金制度	有価証券報告書*1
201-4	政府から受けた資金援助	—
GRI 202:	地域経済での存在感 2016	
202-1	地域最低賃金に対する標準新人給与の比率(男女別)	—
202-2	地域コミュニティから採用した上級管理職の割合	—

スタンダード	開示事項	該当ページ/()内は省略理由
GRI 203:	間接的な経済的インパクト 2016	
203-1	インフラ投資および支援サービス	74-76
203-2	著しい間接的な経済的インパクト	—
GRI 204:	調達慣行 2016	
204-1	地元サプライヤーへの支出の割合	(機密情報につき非開示)
GRI 205:	腐敗防止 2016	
205-1	腐敗に関するリスク評価を行っている事業所	—
205-2	腐敗防止の方針や手順に関するコミュニケーションと研修	103-104
205-3	確定した腐敗事例と実施した措置	103
GRI 206:	反競争的行為 2016	
206-1	反競争的行為、反トラスト、独占的慣行により受けた法的措置	該当事項なし
GRI 207:	税金 2019	
207-1	税務へのアプローチ	104
207-2	税務ガバナンス、管理、およびリスクマネジメント	104
207-3	税務に関連するステークホルダー・エンゲージメントおよび懸念への対処	104
207-4	国別の報告	—

*1 有価証券報告書 <https://www.mazda.com/ja/investors/library/s-report/>

「GRIサステナビリティ・レポート・スタンダード」の開示要請項目について、「マツダサステナビリティレポート2023」において関連するページを記載しています。
*該当ページへのリンクは、PCでの閲覧用に最適化しているため、スマートフォンやタブレットには対応していません。

スタンダード	開示事項	該当ページ/()内は省略理由
300	環境	
GRI 301:	原材料 2016	
301-1	使用原材料の重量または体積	113
301-2	使用したリサイクル材料	26,30
301-3	再生利用された製品と梱包材	30,113
GRI 302:	エネルギー 2016	
302-1	組織内のエネルギー消費量	112
302-2	組織外のエネルギー消費量	—
302-3	エネルギー原単位	—
302-4	エネルギー消費量の削減	14, 16, 19, 33
302-5	製品およびサービスのエネルギー必要量の削減	14-16, 19
GRI 303:	水と廃水 2018	
303-1	共有資源としての水との相互作用	23, 27-28
303-2	排水に関するインパクトのマネジメント	23, 27-28
303-3	取水	27, 114
303-4	排水	27, 114
303-5	水消費	—

スタンダード	開示事項	該当ページ/()内は省略理由
GRI 304:	生物多様性 2016	
304-1	保護地域および保護地域ではないが生物多様性価値の高い地域、もしくはそれらの隣接地域に所有、賃借、管理している事業サイト	—
304-2	活動、製品、サービスが生物多様性に与える著しいインパクト	—
304-3	生息地の保護・復元	—
304-4	事業の影響を受ける地域に生息するIUCNレッドリストならびに国内保全種リスト対象の生物種	—
GRI 305:	大気への排出 2016	
305-1	直接的な温室効果ガス(GHG)排出量(スコープ1)	111
305-2	間接的な温室効果ガス(GHG)排出量(スコープ2)	111
305-3	その他の間接的な温室効果ガス(GHG)排出量(スコープ3)	111
305-4	温室効果ガス(GHG)排出原単位	112
305-5	温室効果ガス(GHG)排出量の削減	13-15, 19-21
305-6	オゾン層破壊物質(ODS)の排出量	29
305-7	窒素酸化物(NOx)、硫黄酸化物(SOx)、およびその他の重大な大気排出物	115
GRI 306:	廃棄物 2020	
306-1	廃棄物の発生と廃棄物関連の著しいインパクト	24-26, 113
306-2	廃棄物関連の著しいインパクトの管理	24-26, 113
306-3	発生した廃棄物	113

「GRIサステナビリティ・レポート・スタンダード」の開示要請項目について、「マツダサステナビリティレポート2023」において関連するページを記載しています。
*該当ページへのリンクは、PCでの閲覧用に最適化しているため、スマートフォンやタブレットには対応していません。

スタンダード	開示事項	該当ページ/()内は省略理由
306-4	処分されなかった廃棄物	29、113
306-5	処分された廃棄物	113
GRI 307:	環境コンプライアンス 2016	
307-1	環境法規制の違反	32
GRI 308:	サプライヤーの環境面のアセスメント 2016	
308-1	環境基準により選定した新規サプライヤー	(機密情報につき非公開)
308-2	サプライチェーンにおけるマイナスの環境インパクトと実施した措置	32、105-106
400	社会	
GRI 401:	雇用 2016	
401-1	従業員の新規雇用と離職	117
401-2	正社員には支給され、非正規社員には支給されない手当	—
401-3	育児休暇	54、118
GRI 402:	労使関係 2016	
402-1	事業上の変更に関する最低通知期間	55
GRI 403:	労働安全衛生 2018	
403-1	労働安全衛生マネジメントシステム	56
403-2	危険性(ハザード)の特定、リスク評価、事故調査	56-58、120

スタンダード	開示事項	該当ページ/()内は省略理由
403-3	労働衛生サービス	56-58
403-4	労働安全衛生における労働者の参加、協議、コミュニケーション	56
403-5	労働安全衛生に関する労働者研修	56
403-6	労働者の健康増進	33、57-58
403-7	ビジネス上の関係で直接結びついた労働安全衛生の影響の防止と緩和	55-56
403-8	労働安全衛生マネジメントシステムの対象となる労働者	56
403-9	労働関連の傷害	120
403-10	労働関連の疾病・体調不良	57
GRI 404:	研修と教育 2016	
404-1	従業員一人あたりの年間平均研修時間	119
404-2	従業員スキル向上プログラムおよび移行支援プログラム	52、119
404-3	業績とキャリア開発に関して定期的なレビューを受けている従業員の割合	54
GRI 405:	ダイバーシティと機会均等 2016	
405-1	ガバナンス機関および従業員のダイバーシティ	54、95、117
405-2	基本給と報酬総額の男女比	117
GRI 406:	非差別 2016	
406-1	差別事例と実施した救済措置	104、121

「GRIサステナビリティ・レポート・スタンダード」の開示要請項目について、「マツダサステナビリティレポート2023」において関連するページを記載しています。
*該当ページへのリンクは、PCでの閲覧用に最適化しているため、スマートフォンやタブレットには対応していません。

スタンダード	開示事項	該当ページ/()内は省略理由
GRI 407:	結社の自由と団体交渉 2016	
407-1	結社の自由や団体交渉の権利がリスクにさらされる可能性のある事業所およびサプライヤー	—
GRI 408:	児童労働 2016	
408-1	児童労働事例に関して著しいリスクがある事業所およびサプライヤー	59,105-106
GRI 409:	強制労働 2016	
409-1	強制労働事例に関して著しいリスクがある事業所およびサプライヤー	62
GRI 410:	保安慣行 2016	
410-1	人権方針や手順について研修を受けた保安要員	—
GRI 411:	先住民族の権利 2016	
411-1	先住民族の権利を侵害した事例	—
GRI 413:	地域コミュニティ 2016	
413-1	地域コミュニティとのエンゲージメント、インパクト評価、開発プログラムを実施した事業所	74-75
413-2	地域コミュニティに著しいマイナスのインパクト(顕在的、潜在的)を及ぼす事業所	—
GRI 414:	サプライヤーの社会面のアセスメント 2016	
414-1	社会的基準により選定した新規サプライヤー	(機密情報につき非公開)
414-2	サプライチェーンにおけるマイナスの社会的インパクトと実施した措置	105-106

スタンダード	開示事項	該当ページ/()内は省略理由
GRI 415:	公共政策 2016	
415-1	政治献金	103
GRI 416:	顧客の安全衛生 2016	
416-1	製品およびサービスのカテゴリーに対する安全衛生インパクトの評価	65-73
416-2	製品およびサービスの安全衛生インパクトに関する違反事例	—
GRI 417:	マーケティングとラベリング 2016	
417-1	製品およびサービスの情報とラベリングに関する要求事項	48,83-88
417-2	製品およびサービスの情報とラベリングに関する違反事例	—
417-3	マーケティング・コミュニケーションに関する違反事例	該当事項なし
GRI 418:	顧客プライバシー 2016	
418-1	顧客プライバシーの侵害および顧客データの紛失に関して具体化した不服申立	該当事項なし
GRI 419:	社会経済面のコンプライアンス 2016	
419-1	社会経済分野の法規制違反	該当事項なし